

(仮称) 新潟駅・万代地区周辺将来ビジョンの検討にあたり

國學院大學 西村 幸夫 教授からのご助言

新潟市の成り立ち等から、目指す都市構造として旧市街地と新市街地をつなげ、一体で発展できる都心軸を強化することが新潟市にとって重要である。また、エリアの都市構造の形成に向けて、新潟駅と万代のつながりを高めていくことの視点や、目指す将来像があり、それをストリーートの将来像でかたどっていく構成が良いと思う。

都心軸は、広幅員で歩行者や自動車交通等を処理する機能を有する道路であり、弁天ルートなどの副軸は、歩行者優先のヒューマンスケールの空間としての道路であるなど、性格が大きく異なる。都心軸と副軸でうまく役割分担していくことが求められる。旧新潟駅前通は、他のストリートと性格が異なるため、その特色を活かしていくと良い。

ストリーートの組合せにおいて、人をどこまで歩かせたいのかを明確にする必要がある。水辺までいけることが大事だと考えており、水辺が近くにあることが伝わるような工夫をしていくべきと考える。また、新潟の歴史や都市構造の変遷をデザイン等でまちの中に表現し、まちのストーリーを市民や来訪者に伝えるようにしていくべきである。